

Ⅵ 現代的課題対応学習事業の概要



地域が抱える緊急の課題に的確に応えることを目指し、市民館等が社会や地域のニーズを適切に調査・研究し、先導的・主導的に実施していく事業として2008（平成20）年度から新たに開設した。

1 シニアの社会参加支援事業

いわゆる団塊の世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援することを目的に開設した。2011（平成23）年度に「入門コース」に加えて「活動コース」を新設した。

（1）入門コース

シニア世代等の地域参加に向けた入門的な啓発事業として、すべての市民館等で実施した。地域活動への参加や地域との係わり方等に関する学習機会を提供し、地域参加の入口として、はじめの一歩となる基本的知識や技術を高めながら地域社会における仲間づくりができるよう促すと共に、多様な学習形態を工夫することで、より多くの市民が参加できるようにした。

（2）活動コース

シニア世代等が自らの経験・知識・能力を活かして地域社会で活躍できるよう支援する事業を、各区で実施した。「入門コース」の学習内容からの発展を意識し、修了後の自主的な活動に向けた仲間づくりを図りながら、具体的な地域活動実践への足がかりとなるような事業展開を図った。

VI 1 (1) シニアの社会参加支援事業 入門コース

教文 孫育てからはじまる地域参加

主 題：現代の子育て事情を知り、地域の子育て支援の活動につなげる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・6	火	孫育ての必要性を学ぶ	求められています！孫育て	NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長 棒田 明子
2	13	火	現代の子育て事情を知る	現代の子育て事情	川崎区役所こども支援室 担当係長 寺嶋 仁子
3	20	火		こんな時どうする？ ～子どもの急患Q&A～	川崎市立多摩病院 看護師 高木 祥子、荒井 優子
4	29	木		おやつ作りから学ぶ子どもの食育事情	栄養士 米井 智子
5	12・4	火	コミュニケーション力を養う	傾聴を学ぶ～コミュニケーション力を高める～	(社福)子どもの虐待防止センター 相談員 関戸 克子
6	11	火	子どもにかかわる地域参加の実情を知る	地域の子どもたちに目を向けよう	臨港中学校区地域教育会議 事務局長 宮越 隆夫
7	12	水		地域の子育て実体験	子育て支援センターむかい 職員
8	18	火	自分ができる地域参加を考える	私も地域の一員	棒田 明子

- 開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 10:00～12:00 ●対象 50歳以上の関心のある方
- 参加者数 8人(男1人、女7人) ●延べ人数 45人

大師 定年退職「ボクらの時代」

主 題：仕事から離れたシニアが仲間づくりや地域参加をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・14	金	オリエンテーション	同じ地域に同じ世代の同じ境遇の人がいることを自己紹介を通して認識する	職員
2	21	金	かどまつを作ってみよう	仕事以外で自分が興味を持てることをみつける	ボケ防止の会 丹羽 隆弘 講師補助 津川 博保
3	1・11	金	ボクらも料理を作ってみよう	これからの生活力を身につける	管理栄養士 米井 智子 講師補助 林 裕子
4	25	金	先輩たちから「ボクらの場合は」	地域には退職者が活動する場があることを定年退職した先輩から聞いて知る	津川 博保 大師フォトクラブ 稲生 清市 川崎中原の空襲・戦災を記録する会 松元 泰雄 おと絵がたり 加藤 妙子 稲葉 栄子
5	2・8	金	先輩から「ボクのはなしをしよう」	退職後の居場所は地域にはたくさんあるということを知る	NPO法人かわさき創造PJ代表理事 おやじの会 「いたか」 大下 勝巳
6	22	金	「ボクらの時代」仲間をつくらう	今後、何がしたいのか、何から始めればいいのかを考える	職員

- 開設場所 大師分館 ●時間帯 10:00～12:00 ●対象 定年退職者及び予備軍
- 参加者数 9人(男9人、女0人) ●延べ人数 38人

田島 やさしい介護予防を学ぶ

主 題：シニア世代が家族や地域とともに互いに支え合うことをめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・2	土	オリエンテーション 介護予防とは何か？	健康を維持するための課題を共有し介護予防(身体機能の低下を防ぐ)を考える	YMCA福祉専門学校 校長 五十嵐 さゆり
2	9	土	いざという時のための介護保険制度を知る	介護保険制度をより知ることはいざという時の自身や家族の備えとする	桜寿園地域包括支援センター センター長 穴澤 幸子

3	16	土	いざという時のための介護施設見学	介護施設の現状を知り健康の大切さや予防を認識する	介護老人福祉施設桜寿園 管理係長 仁科 淳子
4	23	土	健康に過ごすための身体のケア	健康を維持するための予防体操を身につける	(財)日体協公認インストラクター 中村 博子
5	3・2	土	講座を振り返りこれからの暮らしを見つめる	いざという時の家族との関係や地域の中で自身が出来ることを考える	五十嵐 さゆり

●開設場所 田島分館 他 ●時間帯 10:00~12:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 26人(男6人、女20人) ●延べ人数 112人

幸 図書館ボランティア養成講座

主 題：地域で活かすシニアの力

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・7	土	「書籍」の置かれている現状を探る	オリエンテーション 図書館の現状と将来	幸図書館 館長 鈴木 隆
2	14	土	電子書籍の実態と将来性を把握する	青空文庫の概略説明 利用の仕方	ライター 青空文庫呼びかけ人グループ
3	21	土	テキストの入力方法について学ぶ	入力について①	富田 倫生
4	28	土	書籍を扱うにあたり注意すべき課題を学ぶ	著作権・肖像権の取扱い	クリエイティブ・コモンズ・ジャパン 弁護士 永井 幸輔
5	8・4	土	体裁を整えるテキスト入力について学ぶ	入力について②	富田 倫生
6	25	土	簡単な校正技術を学ぶ	校正の行い方	

●開設場所 幸市民館 他 ●時間帯 10:00~12:00 ●対象 区内在住の40歳以上の方

●参加者数 20人(男7人、女13人) ●延べ人数 105人

幸 見て、聞いて、話す「震災と本と人」

主 題：被災地支援のために、自分のできることを考えよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・16	火	被災地での活動事例を学ぶ	震災は何を残していったのか—DVD鑑賞と講演—	東京学芸大学 非常勤講師 矢崎 省三 トーハン北関東支店 支店長 田畑 幸浩

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 18:30~20:30 ●対象 区内在住の40歳以上の方

●参加者数 25人(男17人、女8人)

幸 「写真家三田崇博が見た被災地（言葉を失う場所から）」

主 題：被災地支援のために、自分のできることを考えよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・10	日	被災地でのボランティア活動事例に学ぶ	「思い出写真リペア（修復）プロジェクト」の取り組みについて	写真家 三田 崇博

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 10:00~12:00 ●対象 区内在住の40歳以上の方

●参加者数 36人(男16人、女20人)

日吉 日吉の花咲か☆シニアさんゴーヤ編

主 題：緑のカーテンと夏の花咲か大作戦

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・15	火	ゴーヤによる緑のカーテン事業を担いつつ花の寄せ植えなどの実習を通じて環境緑化推進の意識を育む	ゴーヤの植え方、育て方と緑のカーテンによる環境への効果を学ぶ	元緑化センター職員・樹木医 及川 清明
2	22	火		ゴーヤと春シーズンの花を実際に植え、今後の手入れの仕方を学ぶ	及川 清明 幸花クラブ 代表 根本 健
3	6・12	火		夏シーズンの花の植え方とゴーヤの成長観察①	根本 健
4	7・10	火		夏シーズンの花の植え方とゴーヤの成長観察②	
5	8・7	火		ゴーヤ料理を一緒に作って交流を深めよう	料理研究家 米井 智子

●開設場所 日吉分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 おおむね40歳以上の関心のある方

●参加者数 21人（男6人、女15人）

●延べ人数 70人

●企画委員会 2回

●企画委員 5人

中原 シニアのための生涯学習Part. 1「キャリアアップと生涯学習」

主 題：シニアライフでさらなるキャリアアップを

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・5	水	シニアライフにおいても生涯学習を通してさらなるキャリア開発を行い、キャリアを生かしての地域貢献や生きがい作りの促進を図る。	シニアが始める生涯学習	東京学芸大学 講師 倉持 信江
2	12	水		シニアライフと「キャリア」～自分の価値を再発見する	NPO法人日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会 理事長 岩尾 啓一
3	26	水		キャリアアップとしての市民活動	(公財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
4	10・3	水		これからは面白いシニアライフ～職業人から地域人へ	おやじの会「いたか」 世話人 大下 勝巳

●開設場所 中原市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ねシニア世代の方

●参加者数 17人（男5人、女12人）

●延べ人数 59人

中原 シニアのための生涯学習Part. 2「地域を変えるシニアのチカラ」

主 題：シニアのチカラを地域に活かす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・6	水	シニア世代が地域活動において今まで培ってきた経験、知識、技能を生かす方法を学び、その活動への参画を支援し、地域の活性化や生きがい作りの促進を図る。	「3.11」後の市民活動・地域活動～東日本大震災の災害ボランティア活動から	首都大学東京 准教授 野元 弘幸
2	13	水		シニアの力を地域に活かす～シニア人材活用支援事業の取り組み	川崎商工会議所中小企業振興部 白澤 昇 テクノ・プラーザ コーディネーター 寺岡 滋 街おこし協力隊 代表 山本 多加志 経済労働局労働雇用部 職員 地下水環境クリニック 代表 青柳 計太郎
3	20	水		【公開講座】シニア活動シンポジウム「新たなシニアの仲間づくり～地域貢献活動に向けて」 共催/川崎市生涯学習財団	日本女子大学 教授 田中 雅文 川崎中原の空襲・戦災を記録する会、とあの会、水沢森人の会
4	3・6	水		シニアを取り巻く社会状況～超高齢化社会の到来とシニアの生き方	聖学院大学 准教授 小池 茂子
5	13	水		地域活動スタートのコツ～きっかけ作りと仲間作り	NPO法人あさお市民活動サポートセンター 事務局長 植木 昌昭

- 開設場所 中原市民館 ●時間帯 主に10:00~12:00 ●対象 概ねシニア世代の方
- 参加者数 20人(男14人、女6人) ●延べ人数 75人(公開講座49人)

高津 家族の絆を再確認！家系図入門講座

主 題：家系図作成を通じて家族や地域での絆を再確認する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・2	土	講座の趣旨を理解し、互いを知り合う	講座説明と自己紹介、参加動機などを話し合うグループ分け	職員
2	11	月	家系図から読み取れる歴史と家系図作成の心構え	苗字や家紋など、先祖と歴史の見地から家系図について学ぶ	行政書士 萩本 勝紀
3	17	日	家系図を戸籍で辿る	戸籍の変遷・読み方・集め方からそれらを家系図に描く方法について学ぶ	
4	3・3	日	戸籍を超えた先祖調査1	戸籍以上の先祖調査の方法について、具体的な事例や画像等を用いて説明してもらう	
5	10	日	戸籍を超えた先祖調査2	前回までの説明を受けて、講師のサンプルや自分の戸籍等使用して家系図作成する	
6	20	水	調査とこれからのこと	講座の振り返りなど	職員

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 主に14:00~16:00
- 対象 50代以上で関心のある方
- 参加者数 28人(男17人、女11人) ●延べ人数 139人

高津 おとなのためのスマートフォン講座

主 題：便利な？危険なの？スマホについてとことん学ぼう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・23	水	開校式	講座説明と自己紹介、参加の動機などを話し合う	職員
2	30	水	初心者のためのスマートフォン講座	スマートフォンの基本操作を学び、実際に操作してみる	株式会社 電創 高橋、三條、倉田
3	2・6	水	もっと楽しむ！スマートフォン活用講座	スマートフォンのカメラ機能やメールの送受信、インターネット接続を行ってみる	
4	13	水	スマートフォンでつながろう交流の輪	スマートフォンを使って受講者同士で交流してみる	
5	20	水	情報弱者にならないために	災害時に役立つサイトやアプリケーションの紹介や端末の便利な使用法について学ぶ	日経BP社『日経パソコン』 大橋 源一郎
6	27	水	ネットに潜む危険	ネットで個人情報公開することのリスクやSNS利用の注意点などを具体的に知る	市PTAホームページ運営 顧問 田島 和彦
7	3・6	水	オフ会のすすめ	オフ会を開催している人の話を聞いて、オフ会開催についてSNSで決めてみる	川崎シニアネット

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 主に14:00~16:00
- 対象 50代以上でメールの送受信のできる方
- 参加者数 22人(男6人、女16人) ●延べ人数 127人

橘 シニア男子の元気力向上講座

主 題：家庭人、地域人として生活者の視点の再構築をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・22	金	はじめまして・バランスの良い食事と運動	自己紹介・質と量の面からバランスの良い食事とはどんなものなのかを学ぶ	栄養士 日本体育協会公認スポーツ 指導員 米井 智子
2	3・1	金	料理の基礎の基礎① 昼食から始めよう	ご飯を炊く、汁物を作る、焼きそばを作る、バランスを考えて副菜を作る	

3	8	金	料理の基礎の基礎② 野菜を食べよう	野菜、肉の扱い方を学ぶ	
4	15	金	適度な運動の基礎の 基礎	高齢期の運動について、筋肉や心拍数などから 考える。ストレッチ等の実習	
5	22	金	料理の基礎の基礎③ 青魚を食べよう	青魚の扱い方を学ぶ・いわしのつみれ汁、鰯の ソテー、炊込みご飯	

●開設場所 橘分館 ●時間帯 13:30~16:00

●対象 シニア世代の男性

●参加者数 18人(男18人、女0人) ●延べ人数 81人

宮前 シニアライフを生き生きと～シニアが地域で活躍するために～

主 題：豊かなシニアライフを送り地域デビューのために必要な知識を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・25	木	地域でボランティア などで活動するとは	現役リタイア後の地域との付き合い方や地域で 活動することについて学ぶ	NHK文化センター 講師 日本フィランソロピー研究所 所長 渡邊 一雄
2	11・1	木	老後の暮らしを考 える	老後において自宅で暮らすために必要な介護保 険等の知っておくべき知識と地域の施設につい て学ぶ	地域包括支援センター レストア川崎 職員
3	8	木		多様化し分かりづらくなっている老後の過ごし 方のひとつ施設について学ぶ	
4	15	木		エンディングノートについて学び人生の終末 点までの道のりを考える	ファイナンシャルプラン ナー 佐藤 英二
5	22	木		認知症とは何か？医療から見た認知症につい て学ぶ	聖マリアンナ医科大神経 精神科 医師 副島 香織
6	29	木	地域でボランティ アなどで活動する とは	宮前区内の地域活動の実態を学びとともに地 域デビューの入り口について学ぶ	前菅生台自治会会長 丸山 幸一 宮前区社会福祉協議会 職員
7	12・6	木		宮前区内の地域活動の実態を学びとともに地 域デビューの入り口について学ぶ	すずの会会長 鈴木 恵子
8	13	木	これからの活動と は	地域での活動へ向けて 宮前区での事例を交えて学ぶ	渡邊 一雄

●開設場所 宮前市民館 他 ●時間帯 13:30~15:30 ●対 象 50歳以上の方

●参加者数 31人(男9人、女22人) ●延べ人数 130人

菅生 だれでもできる耐震対策

主 題：今、はじめよう身近な地震対策

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・9	土	大規模地震の発生に 伴う危険さを知り、 可能な対策を具体的 に学習することによ り安全な地域づくり を考える	住まいの耐震性を見きわめる 行政の防災体制を知る	一級建築士 永井 幸 (宮)危機管理担当 佐々木隆一
2	23	土		家族を守る① ガラス飛散防止対策	地域貢献建設会 ロコビルダー会員
3	7・7	土		家族を守る② 家具の転倒防止対策	
4	21	土		地震発生後の行動、シュミレーション 家族を守る③防災用品と情報	机上防災訓練研究会 会員
5	8・4	土		(話し合い)お互いの実践報告から 学習成果をどう活用するか	永井 幸 ロコビルダー会員 菅生台自治会 黒沢 克實

●開設場所 菅生分館 ●時間帯 13:30~16:00

●対 象 地域在住おおむね50歳以上の方

- 参加者数 17人（男9人、女8人）
- 延べ人数 64人
- 企画委員会 3回
- 企画委員 4人

多摩 50代の女性として今

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・10	水	子どもにてがかからなくなった50代の女性は、地域との関わりが一旦とぎれてしまいがち。地域と関わることの大切さを知り、積極的に関わられるようなきっかけをつくる	子どものころを思い出して いろいろな世代とご近所コミュニケーション 防災でつながる地域 得意なことを活かして人とつながる 好きなことで地域とつながる	職員 スマイル・ワン 代表 大槻 笑子 防災ネットワークプラン 代表 井上 浩一 アロマセラピスト 得田 道子 ブロッサムコーチング 代表 涼木 ゆかこ

- 開設場所 多摩市民館
- 時間帯 18:00~20:00
- 対象 概ね50代の女性
- 参加者数 13人（男0人、女13人）
- 延べ人数 37人

多摩 子育てで活かそうシニアの力！～自分の孫も、地域の子も～

主 題：シニア世代による子育てを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・11	日	シニア世代による子育ての必要について	現代の子育て事情について	NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長 棒田 明子
2	24	土	世代間の育児ギャップについて	子どもの親世代とシニア世代間にある育児への考え方の違いを知る	臨床心理士 植松 紀子
3	12・9	日	子ども達とのふれあいの実態について	絵本の読み聞かせを例に、地域での子育ての実態を知る	絵本読み聞かせグループ MENDORI
4	16	日	これからの地域での育児活動について	これから地域の一員として、育児にどう関わっていくか考える	神奈川大学 名誉教授 松岡 紀雄
5	23	日	講座を振り返り今後の活動について考える	講座の振り返り	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 時間帯 10:00~12:00
- 対象 概ね50歳以上の男女
- 参加者数 11人（男2人、女9人）
- 延べ人数 36人

麻生 これからおもしろい！シニアのASAOLIVE

主 題：新たな学びや人と出会い、地域活動の担い手となる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・20	火	達人デビューの準備1	自己紹介とアイスブレイク 仲間づくりのワークショップ	財団法人健康・生きがい開発財団登録講師 松田 誠一
2	27	火	達人デビューの準備2	価値カードを使って、地域での自分をイメージする	
3	12・4	火	地域の魅力発見1	農のある風景の保全で守られている飛地岡上の特色に触れる	麻生観光協会 理事 飯塚 洋三
4	11	火	地域の魅力発見2	黒川青少年野外活動センターで里山について学び、森の手入れを体験する	黒川青少年野外活動センター 所長 野口 透 NPO法人 やまぼうし自然学校 森林インストラクター 丹野 雅之
5	18	火	地域の魅力発見3	シニア世代が地域で元気に暮らせるよう支援している3施設を訪問	新百合地域包括支援センター・麻生スポーツセンター・交流館やまゆり 各施設職員

6	1・15	火	地域の魅力発見4	バイオディーゼル燃料のエコバスで麻生環境ツアー【積雪のため中止】	かわさきかえるプロジェクト あさおてんぷら油資源化チーム 事務局長 林 恵美
7	29	火	シニアライフを豊かに	シニアの問題を中心に執筆を続ける作家が語るシニアの生き方	ノンフィクション作家 沖藤 典子
8	2・5	火	地域参加をめざして1	市民と協働のまちづくりをする麻生区の取り組みと町会の活動事例発表	はるひ野町内会・細山町会 会長 麻生区役所地域振興課 職員
9	12	火	地域参加をめざして2	シニアが今まで蓄積した知識や特技を活かして、グループで企画づくり	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代

- 開設場所 麻生市民館 他 ●時間帯 概ね10:00~12:00 ●対象 50歳以上
●参加者数 24人(男15人、女9人) ●延べ人数 144人

岡上 地域で活かそうシニアの力！2

主 題：関わりの少なかった地域社会での活動に参加できるよう支援する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・14	金	地域と係りなく、地域で開催されるイベントや講座にも参加したことがないような方々が、パソコンを活用した体験談などを聞き、地域デビューのきっかけになるようパソコン技術を習得し今後の活動に活かす	オリエンテーション 地域活動におけるパソコンの活用	NPO法人 かわさき創造プロジェクト 事務局長 森 正昭 スタッフ
2	21	金		パソコン操作 基礎1	
3	28	金		Word学習	
4	10・5	金		懇親会の案内、議事録の作成 ワードアートの活用	
5	12	金		パソコン操作 基礎2 パワーポイントによるプレゼンテーション 自己紹介の作成	
6	19	金		パソコン操作 基礎3	
7	26	金		Excel学習 住所録の作成と整理 地域や性別による分類や演算	
8	11・2	金		パソコン操作 まとめ 地域活動に参加する心構え 今後の地域活動を効果的に進めるには	NPO法人 かわさき創造プロジェクト 代表理事 大下 勝巳

- 開設場所 岡上分館 ●時間帯 10:00~12:00
●対象 区内在住の概ね50歳以上の方
●参加者数 15人(男8人、女5人) ●延べ人数 115人

VI 1 (2) シニアの社会参加支援事業 活動コース

教文 緑化活動から仲間づくり

主 題：ふれあい緑化活動を通じたシニアの仲間づくり

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・14	水	緑の思いを話し合う	自分流緑化スタイルから思いや感じていることを話し合う	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	21	水	緑と関わる地域活動とは	まちに緑をふやし、地域とつながり活動しているグループから学ぶ	海風の森をMAZUつくる会 原田 歩、藤井 恒夫 小笠原 由夫、中村 加
3	28	水	暮らしと地域活動について	森作り活動団体から緑の保全についてグループワークから自分ができること	
4	12・5	水	緑化活動団体による緑化の魅力を探る	活動団体と土いじり等の体験から緑化の保全、コミュニティ活動を考える	はぐくみの里 森川 幸雄、田中 治子 荒井 美剛、峠館 毅
5	12	水	地域活動に参加してみよう	活動団体の話から、自分の活動方法を話し合いながらみつける	(財)川崎市公園緑地協会 野牛 雪子

●開設場所 教育文化会館他

●時間帯 10:00~12:00

●対象 40歳以上の関心のある方

●参加者数 13人(男4人、女9人)

●延べ人数 49人

幸 地域レポーター入門講座

主 題：シニアの力で、地域情報ニュースを発信しよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・15	火	肖像権と著作権について学ぶ	オリエンテーション 企画立案・取材の準備	川崎市市民ミュージアム 学芸員 濱崎 好治
2	22	火	動画制作の基本を学ぶ	制作のポイント① シナリオの書き方・インタビューの方法	濱崎 好治 デジタルアーキビスト 香川 義雄 地域・レポーター 古賀 佳子
3	29	火	撮影技術を学ぶ	制作のポイント③ 撮影の仕方	香川 義雄 古賀 佳子
4	2・12	火	編集技術について学ぶ	制作のポイント④ 音入れ・編集の仕方	
5	19	火	作品の発表を行う	作品発表会	
6	3・9	土		生涯学習交流集会 区民に向けての発表	

●開設場所 幸市民館

●時間帯 14:00~16:00

●対象 原則区内在住の40歳以上の方

●参加者数 8人(男2人、女6人)

●延べ人数 32人

中原 知っているようで知らない気候変動

主 題：聞いて、語って、中原で一歩踏み出そう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・23	日	気候変動問題に関する学習を通じて、地域で何ができるかを共に考える	世界の気候変動について	NPO法人 気候ネットワーク東京 副事務所長 桃井 貴子
2	10・14	日		再生可能なエネルギーについて	NPO法人 環境エネルギー政策研究所 主任 山下 紀明
3	11・4	日		国内の先進事例について	NPO法人 ただすのもり 環境学習研究所 代表 山田 岳

4	24	土	川崎の気候変動問題について	NPO法人 川崎フューチャ ャー・ネットワーク 代表 三枝 信子
5	12・9	日	まとめ～自分たちができること	NPO法人 コミュニティ ファシリテーション研究所 代表 廣水 乃生

- 開設場所 中原市民館 ●時間帯 14:00～17:00 ●対象 主にシニア世代の方
- 参加者数 19人（男11人、女8人） ●延べ人数 37人
- 企画委員会 3回 ●企画委員 4人

高津 生前整理DE丁寧な暮らし

主 題：身の回りの物の整理から老いても安心な暮らしを目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・6	火	受講者交流・学習内容の確認	自己紹介・ワークショップ・講座の趣旨説明	職員
2	13	火	「捨てる」方法を学ぶ	片付けに必要なコツや自分らしい暮らしを实践するため自分の「価値観」について考える	暮らしオーガナイザー 吉川 圭子
3	20	火	いつまでも元気でいるために	片付け続けるための体力・気力を保つため、ストレッチや呼吸法を实践する	NPO法人 高津総合型ス ポーツクラブセルフ 戸沼 智貴
4	27	火	「リサイクル」や「寄附」で活用する	企業・行政・市民が取り組んでいるリサイクルについて学ぶ	NPO法人 アクト 庄司 圭子 ㈱丸井グループ循環型ファッション 事業担当部長 平野 新二 川崎市環境局廃棄物政策担当 山本 隆之 かわさきかえるプロジェクト 伊中 悦子
5	12・4	火	「豊かさ」の意味を変えて	シンプルで丁寧な暮らしのために、これから実践したいことについてワークショップを体験する	等覚院 僧侶 中島 光信

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 13:30～15:30
- 対象 概ね40歳以上のシニア世代
- 参加者数 30人（男5人、女25人） ●延べ人数 124人

宮前 カフェぼらしよう!!

主 題：コミュニティカフェの運営ボランティアを育成する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・22	金	ボランティアや地域活動についての基礎を学ぶ	地域活動やボランティアについて	日本女子大学 教授 田中 雅文
2	3・1	金	コミュニティカフェについて知る	コミュニティカフェについて①	公益社団法人長寿社会文化協会 全国コミュニティカフェ・ ネットワーク 事務局 協議体チーム中野 事務局 「ふれあいねっと」編集室 (兼務) 昆布山 良則
3	8	金		コミュニティカフェについて②	みたか・みんなの広場運営協議会 代表 成清 一夫 ほか
4	15	金	まとめ	地域と、これからのかわりについて	株式会社イータウン 代表取締役 斉藤 保
5	29	金	入門コースとの交流	「うつしよの世の静寂に」上映と講話	株式会社ささらプロダクション 代表取締役 小倉 美恵子

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 ①14:30～16:30 ②③④⑤13:30～15:30
- 対象 概ね45才以上で関心のある方 ●参加者数 26人（男4人、女22人） ●延べ人数 84人

多摩 生涯学習相談ボランティア入門講座

主 題：～あなたも地域社会で、区民の生涯学習サポートの担い手に～

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・30	火	シニア世代の市民が自らの経験や知識を活かして多摩区の生涯学習相談を実施していくにあたりその手法を学び、区民の生涯学習のニーズに適正に応える技術を身につけ、市民の生きがいを見出せる環境をめざす	“生涯学習”事始め ～区民への生涯学習の情報提供の意義とそのあり方～	日本女子大学 助教 宮地 孝宜
2	11・6	火		生涯学習相談の実際と役割について～これからの生涯学習振興と学習相談員に求められるもの～	
3	13	火		川崎市麻生市民館の事例を学ぶ	麻生市民館生涯学習相談員 本玉 秀夫、津田由美子 麻生市民館 職員
4	27	火		生涯学習相談に必要なカウンセリングの手法を学ぶ～相談業務における区民とのコミュニケーション能力について～	NPO法人 心の笑顔サポートセンター 理事長 小山田 治子
5	12・11	火		○実際の学習相談業務について知る～多摩市民館生涯学習相談コーナーについて～ ○多摩区の生涯学習相談業務について	多摩生涯学習相談ボランティアの会 海部 健、金川 春男 職員

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 原則50歳以上の関心のある方

●参加者数 11人（男5人、女6人）

●延べ人数 40人

麻生市民館 麻生市民館 生涯学習相談員養成講座

主 題：あなたも地域の学習を支援する応援団で活躍を！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・7	水	生涯学習を理解し、学習相談の意義を考える	生涯学習への理解と学習相談の意義	日本女子大学人間社会学部 助教 山澤 和子
2	14	水	実際の学習情報提供と学習相談に実態を知る	学習情報提供と学習相談の実際 (神奈川県例)	神奈川県生涯学習情報センター 学習相談員 中山 耕造 チーム コミュニケーション・カフェ 代表 埴 博臣 齋藤 圭一
3	21	水	傾聴について学ぶ	傾聴の難しさや大切さをワークショップを通して体験する	相模原市総合学習センター 生涯学習推進員 風間 真起子
4	28	水	実際の学習情報提供と学習相談に実態を知る	学習情報提供と学習相談の実際 (相模原市例)	職員
5	12・5	水	他館の学習相談を知る	学習相談の現場を見る ～交流と意見交換会～	

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ね50歳以上で関心のある方

●参加者数 28人（男6人、女22人）

●延べ人数 97人